

まつりまでには — 宮本武蔵 —

みやもとむさし

もうすぐ、秋まつりがやってきます。毎年、たいこ打ちの力強いたいこの音が、まつりをもりあげます。たけぞうは、いつか自分もまつりでたいこを打つてみたい、と思つていました。そして、同じようにたいこ打ちになりたい友だちといつしょに、たいこの練習れんしゅうをはじめました。しかし、なかなかうまく打てません。ばちがよくとぶし、打つ音もばらばらです。友だちの打つたいこの音にも合いません。

(このままでは、ダメだ。まつりまでには、なんとかしなくては。)

つぎの日からたけぞうは、雨の日も風の日もうら山へ出かけました。たおれていいるクリの木をたいこがわりにして、二本のぼうをたたきつけるけいこをはじめました。「どどどん　どどどん　どんどん　どん。」と、大声を出しながら打ちつけました。



なかなかもどつてこないたけぞうを心配し、お父さんは弟子たちにようすを見に行かせました。

「なんだ、あの音は。右左で打つ音がばらばらだ。」

「ほんとうだ。」

練習れんしゅうをつづけるたけぞうの耳に、弟子たちの声が聞こえました。

(まだ、ダメなのか…。)

自分では、右手と左手のたたく強さがそろつてきたと思っていたときだったのです。くちびるをかみしめたたけぞうは、血ちまめがつぶれて血のにじんだばちをなげ出しました。そして、ふかくためいきについて、木のかぶにしゃがみこんでしまいました。

「たけぞう、どうしたのだね。」

心配してようすを見に来た姉ねえさんでした。

「姉さん、いくらやつても、うまくできないんだ。」

「だいじょうぶよ。お父さんもわたしも、たけぞうはきっとできると思っているよ。」

「右のばちをおもくして、毎日たたきつづけてもダメなんだ…。」

姉さんは、なげ出されたばちに目をやりながら、

「お父さんが、いつも『なにごとも、努力どりょくだ。努力なしでは、何もできんぞ。』と

言つておられるでしょう。ほら、このばちにたけぞうのがんばつてきた気もちがつまつていてるわ。努力をつづければ、かならずできるようになるわ。はじめのころよりはうまくなつていてるもの。」と、たけぞうの手をやさしくとり、はげました。

姉ねえさんのことばを聞いたたけぞうは、しばらく、血ちのにじんだ手

のひらを見つめていましたが、やがて、ぐつとにぎりしめました。

(そ�だ、ここまで努力をつづけたんだ。姉さんの言う通り、は

じめのころよりはうまくなつていてる。きっとできるようになる。)

たけぞうは、力強い目をして立ち上りました。そして、なげ出したばちをひろつて、またクリの木にむかい、右左の強さに気をつけながら練習れんしゅうをはじめました。

それからのたけぞうは、気もちがくじけそうになると、ばちを見つめ、一人前いちにんまえのたいこ打ちになりたい、という自分の気もちを思い出すようにしました。すると、体の中から力がわいてきて、もう一打ちがんばろう、と思えるのでした。



今日は、村まつりの日です。いましばらく力強いたいこの音が聞こえます。やぐらの上では、たいこ打ちのゆるしをうけたたけぞうが、すみきつた秋空のもと、大きくうでをふりあげていました。たけぞうのたいこの音は、村中にひびきわたります。

ドドドン ドドドン ドドンド ドン ドドドン ドドドン ドドンド ドン

「よう、ここまで上手になつたなあ。右手のばちさばきも、うまいぞ。」

たいこ打ちのなかまたちも、そばにいるみんなも、たけぞうのばちさばきに見とれていました。

(がんばつてきてよかつた。)

ばちをもつ自分の両手を見ながら、たけぞうはいつそう力強くたいこの音をひびかせるのでした。

このたけぞうこそ、日本一のけんじゅつ家といわれた「宮本武蔵」だったのです。

今、宮本武蔵の生まれた美作市には、「宮本武蔵」の名前のついた駅があります。



宮本武蔵駅（美作市）

1 主題名 自分の決めたことに向かってがんばる心

2 主題設定の理由

(1) 内容項目について

中心とする内容項目は、A 希望と勇気、努力と強い意志「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。」である。自分でしようと決めたことを最後までやりとげることは、自分自身を高めていくために大変意義のあることである。そして、継続していく困難さや障害を乗り越えて目標を達成できた時、その喜びはこの上ないものであり、その時の成就感は将来にわたって自分の自信となっていくものである。こうしたことから、苦しみに打ち勝ち、自分を励ましながら粘り強く取り組む姿勢を育てることが大切であると考える。

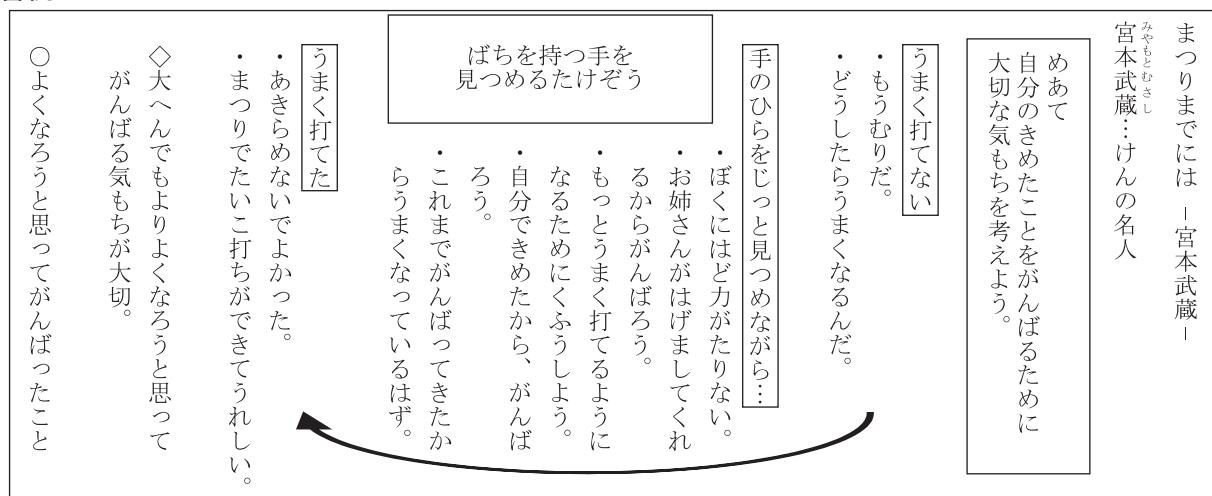
(2) 児童の実態について

この時期の児童は、勉強や運動だけでなく、様々なことに興味・関心を広げ活動的になり、自分の好きなことに対しては自ら目標を立て、継続して取り組むことができるようになってくる。その反面、つらいことや苦しいことがあると途中であきらめてしまうこともある。そこでこのような児童に、つらいことや苦しいことに出会ってもそれを乗り越えて努力を続けると、喜びや充実感があることを感じ取らせ、自分で決めたことはくじけず最後までやり通そうとする心情を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、江戸時代初期の剣術家、宮本武蔵の少年時代の話である。左利きの武蔵が、つらい練習を続けた末に、太鼓が両手で上手に打てるようになった経過が語られている。児童にとって、できるようになるまで自分の決めたことに努力する姿やつぶれた血豆を見つめてくじけそうになる武蔵の様子は共感しやすいと思われる。自分を信じて粘り強い努力を重ね、太鼓がうまく打てるようになった達成感と充実感を十分に感じさせたい。また、身近な人々の励ましや、できるように工夫することの大切さにも気付かせたい。

◇板書例



◇参考

宮本武蔵（1584?～1645年）。現在の岡山県英田郡大原町宮本の生まれ（兵庫県生まれという説もある）。江戸時代初めころの剣術家、兵法家。二刀流兵法で有名。水墨画などの芸術の才能の高さもよく知られている。

3 ねらい

自分で決めたことを頑張るために大切な気持ちを考える中で、困難に出会ってもよりよくなろうと思ってやりぬくことの大切さに気付き、自分で決めたことを最後までやり遂げようとする心情を育てる。

4 展開

○は基本発問 ◎は中心発問

| 学習活動 | 主な発問と児童の心の動き | 指導上の留意点 |
|------------------------------|--|--|
| 1 宮本武蔵について聞き、めあてをつかむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮本武蔵という人を知っていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・剣の達人だと聞いたことがある。 ・太鼓も上手だとは知らなかったな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮本武蔵駅の写真を見せながら、宮本武蔵が美作地区の生まれであることを伝え、練習を頑張って太鼓の演奏が上手になったことを話題にして、めあてをもちやすくする。 |
| | 自分の決めたことをがんばるために大切な気持ちを考えよう。 | |
| 2 「まつりまでには－宮本武蔵－」を読んで話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ なかなかうまく打てず、ぱちを投げ出したときのたけぞうは、どんなことを考えていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたらうまく打てるのだろう。 ・もう無理だ。 ○ 血のにじんだ手のひらをじっと見つめているたけぞうは、どんなことを考えていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは努力がまだ足りなかったのだ。 ・姉さんが励ましてくれるから頑張ろう。 ・自分で決めたことだから頑張ろう。 ・もっとうまく打てるようになるためにもっと工夫しよう。 ・これまで頑張ってきたからうまくなっているはず。 ○ 祭りの日、うまく太鼓が打てたたけぞうはどんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめないでよかった。 ・祭りで太鼓打ちができてうれしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・たけぞうが練習を始めた理由を補助発問として問うことで、自分で決めたことを頑張ろうとしている気持ちを理解できるようにする。 ・手のひらを見つめるたけぞうの思いをワークシートに書くことで、頑張ろうと思えたたけぞうの気持ちを考えやすくなる。 ・一度意欲を失いかけたのに、もう一度頑張ろうと思えるようになった根拠を問うことで、努力が足りなかつた反省やうまく打てるようになりたいと思って自分の決めたことを最後までやり抜こうとするたけぞうの思いに気付きやすくする。 ・上手になった時のたけぞうの喜びを考えることで、よりよくなろうと努力したからこそ大きな喜びをもてたことを理解しやすくなる。 |
| | 大へんでもよりよくなろうと思ってがんばる気持ちが大切だな。 | |
| 3 粘り強くやり抜くことについて今までの自分を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで決めたことをよくなりたいと思い頑張ることができましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーを上手に演奏しようと思ってできるようになるまで頑張った。 ・もし嫌だと思っても、できるようになったらうれしいから頑張りたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級目標や学期の自分の目標など具体的な目標を想起させることで、よりよくなろうと思って努力する気持ちについて自分との関わりで振り返らせる。 |
| 4 教師の話を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 先生の話をします。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験を話すことで、よくなりたいと思って努力していく大切さをより深く理解できるようにする。 |
| | 自分で決めたことは、大へんでもっとよくなろうと思ってがんばっていきたい。 | |
| 評価の観点 | <ul style="list-style-type: none"> ・よりよくなろうと思って努力を続けることの大切さに気付くことができたか。 ・自分で決めたことはよりよくなろうと思って最後まであきらめずに努力しようとする意欲を高めることができたか。 | |

5 他教科等との関連

日常生活や教科等の中で自分が頑張ることを決めて、あきらめずに努力している姿を称揚する。

まつりまでには

— 宮本武蔵 —

3年()組()

○血のにじんだ手のひらをじっと見つめているだけどうは、
どんなことを考えていたのでしょうか。

